

令和2年度社会福祉センター事業実績評価シート

事業	項目	総評
1 施設の 管理運営・ 貸出業務	(1) 施設の目的に沿った管理運営	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で休館や開館時間の短縮等があり、各諸室とも稼働率は低下しているが、検温や消毒等、感染予防対策をしっかり講じた上で運営を行っていることを周知し、徐々に稼働率は上がってきている。</p> <p>新しい生活様式での運営が求められる中、安心して利用いただける施設であることを効果的にPRして、稼働率の上昇につながることを期待したい。</p> <p>建物や設備の保守管理については、定期点検を実施している他、防犯カメラを増設し、安全で安心して利用できる施設環境に努めている。建物の老朽化により、修繕が必要な箇所があるため、優先順位をつけ、計画に基づいて着実に実施されたい。</p> <p>利用者からの意見等については適切に対応し、職員間での共有を行っている。</p> <p>施設運営に必要な職員は適切に配置されている。人材育成については、指定管理者である社会福祉法人共通の研修計画に基づき、実施されている。</p>
	(2) 建物・設備等の管理	
	(3) 利用者ニーズの把握、苦情対応	
	(4) 職員体制・育成	
2 ボラン ティア支援 等	(1) 情報収集・提供	<p>ボランティア活動に関する情報提供については、HPやFacebookを活用し、ニーズを捉えた情報や見やすさ・わかりやすさを意識した掲載など、工夫を行っている。</p> <p>また、新しい生活様式という環境が異なる状況下においての各区のボランティアコーディネートの情報を互いに共有し、適切に対応できるよう、取り組んでいる。</p> <p>今後は、市域施設としての特徴を活かし、具体的な方策を示してボランティアセンターの活性化を図っていくことが求められる。</p>
	(2) 相談	
	(3) 区域を限定しない、市域を対象とする取組	

令和2年度社会福祉センター事業実績評価シート

事業	項目	総評
3 場を生かした取組	(1) 場を生かした取組の実施 (例) 市域団体への支援、会場利用者へのPR・啓発、交流の場の提供、福祉保健活動につなげる取組	<p>区域を限定しない団体の活動促進をサポートするなど、コーディネートノウハウを活かした取組を行っています。</p> <p>また、各団体や企業と日頃からのつながりを大切にして、企業の地域貢献活動の機会を創出しています。</p> <p>コロナ禍における活動の継続にあたり求められている、Web会議等のICTの活用にあたっての研修講師を企業に依頼して実施する検討など、これまでの関係づくりを活かした取組を行っています。</p> <p>新しい生活様式においては、団体や企業と地域が直接対面して交流する活動が難しくなっているため、新たな視点での交流会の実施内容の検討や地域課題の解決につなげる団体や企業のかかわり方について、今後は取組を進めていただきたい。</p>
	(2) 立地を生かした企業等との連携	
	(3) 自主事業の実施	
4 広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくり	(1) 広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくり	<p>広域団体・中間支援組織との連携、ネットワークづくりについては、災害時の連携をテーマに意見交換を実施している。今後も継続的に意見交換を行い、ネットワークの強化を図るとともに、会員同志が情報共有等を図る機会を作り、ネットワークを活かした、充実した取組の発展を期待します。</p>
5 各区福祉保健活動拠点の支援	(1) 区域（区福祉保健活動拠点）の活動支援	<p>各区福祉保健活動拠点のボランティア関連情報の集約や各区の課題等を把握して、共通する課題に対する情報共有や検討を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中でZOOMの使い方研修に取り組むなどニーズを捉えた活動を展開している。</p> <p>今後は、把握した課題に対する支援や効果的な取組の検討が求められる。</p>
	(2) 広域的、先駆的な団体や活動の育成	
その他考慮すべき取組等		<p>県のLINEコロナお知らせシステムの導入等、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた運営に迅速に対応した。また、ICTの活用ニーズを踏まえ、Wi-Fi環境整備を強化するなど、利用者の利便性の向上にも努めた。</p>